

平成24年度の社会貢献活動について

公益社団法人リース事業協会

はじめに

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、東北地方の太平洋側を中心に甚大な被害が生じました。震災に遭われた方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

当協会では、平成24年度の社会貢献活動として、被災地の公的教育機関にリース終了パソコン378台¹を寄贈しました。本活動は、平成23年度から実施しており、累計で902台のリース終了パソコンを寄贈しています。以下では、当協会の社会貢献活動の概要、平成24年度の活動状況²、今後の展開についてご紹介します。

1. 当協会の社会貢献活動

リース業界は企業を対象にパソコンなどの情報関連機器をはじめとして生産設備や商業設備など多種多様な設備をリースしています。これらの設備は、リース期間終了後にリース会社に返還されますが、リース業界においては、返還されたリース終了物件をリユース（再利用）またはリサイクル（再資源化）することによって、地球環境にできるだけ負担のない方法で有効に活用することを目指しています。

当協会の社会貢献活動は、このようなリース業界の特色を活かし、会員会社からリース終了パソコンの提供を受け、被災地教育機関ですぐに活用いただけるように、清掃・ハードディスクの情報消去・動作確認などの基本的な整備に加えて、ソフトウェアを導入して寄贈しています。

ソフトウェアは、日本マイクロソフト株式会社様からWindows XPとOffice2007を無償でご提供いただくとともに、同社のシチズンシップライセンスを活用いたしました。

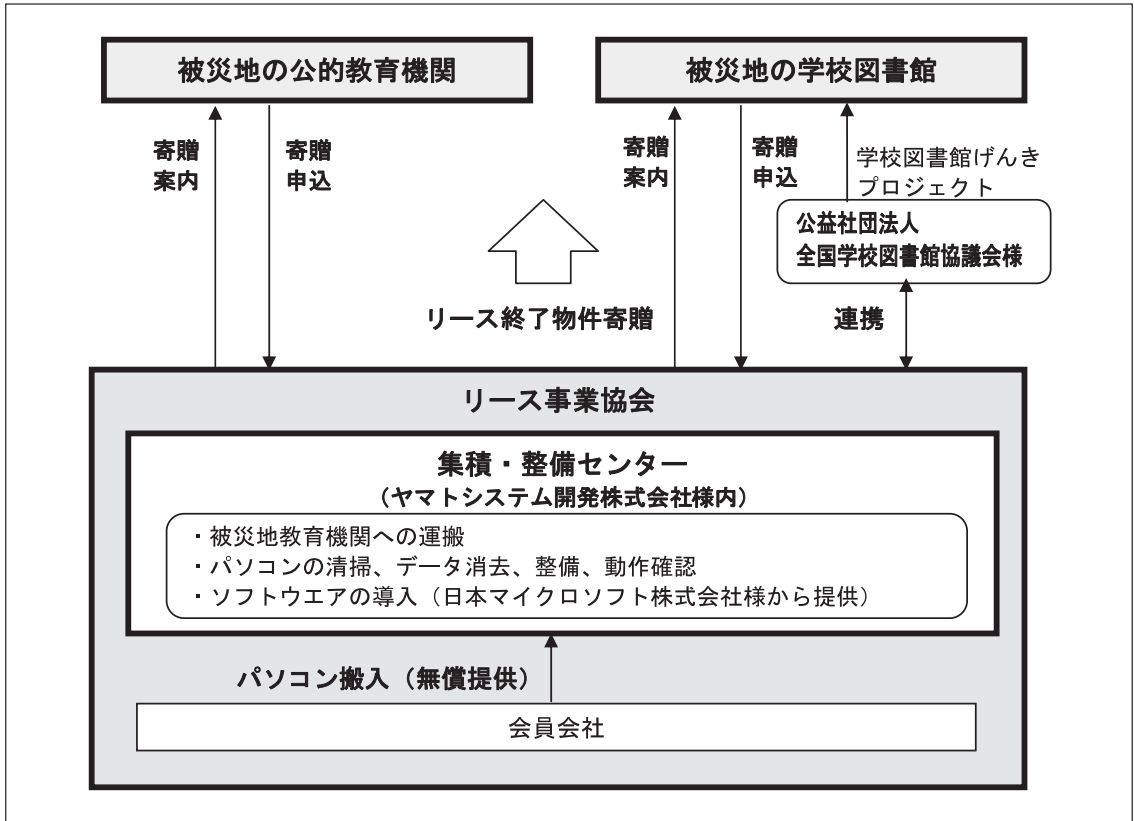
寄贈先につきましては、平成23年度から引き続き、震災で甚大な被害を受けた3県（岩手県、宮城県、福島県）の将来を担う次世代の教育現場（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）と地域社会の交流活動や文化活動の拠点（図書館、博物館、公民館）に対する寄贈活動（以下「公的教育機関への寄贈活動」といいます。）を行うとともに、公的教育機関に設置されている学校図書館に対する寄贈活動（以下「学校図書館への寄贈活動」といいます。）を行いました。

これらの活動を行うため、会員会社から1,166台（平成23年度～平成24年度累計）のリース終了パソコンを無償で提供いただきました。

1 故障などによる代替機の提供数を除いています。

2 平成23年度の社会貢献活動につきましては、「月刊リース」平成24年4月号に掲載するとともに、当協会ホームページ (<http://www.leasing.or.jp>) に掲載しています。

平成24年度の社会貢献活動（仕組み図）



2. 公的教育機関への寄贈活動

平成23年度中に寄贈のお申し込みをいただいたものの、台数調整をさせていただいていた教育機関への追加の寄贈および、リース終了パソコンの準備が間に合わず寄贈ができなかった公的教育機関にリース終了パソコンを寄贈いたしました。

その後、当協会の事務所がある富国生命ビル内において、富国生命保険相互会社様の主催により、被災地（岩手県、宮城県、福島県）の特別支援学校の児童・生徒の作品展が開催されました。当協会では、出展した特別支援学校にリース終了パソコンの寄贈に関するご案内を差し上げ、お申し込みをいただいた特

別支援学校にリース終了パソコンを寄贈いたしました。

また、学校図書館への寄贈活動を行う中で、学校図書館以外でも同じ学校内でリース終了パソコンを使用したい旨のご希望をお知らせいただいた教育機関にリース終了パソコンを寄贈いたしました。

リース終了パソコンを寄贈した教育機関からは、現在使用しているパソコンは、動作不良や動作遅延が多く報告されているが修理予算が少なく、いただいたパソコンを授業や公務に活用することができ、情報化をより一層進めることができたという声が寄せられています。

3. 学校図書館への寄贈活動

平成24年度の社会貢献活動を行うに際して、被災地の図書館に支援ができないか検討をするため、社団法人日本図書館協会様から被災地図書館の現況や要望などを伺いました。日本図書館協会様からは、教育機関に設置されている学校図書館に寄贈活動をしてはいかがかとの助言をいただき、公益社団法人全国学校図書館協議会様をご紹介いただきました。

学校図書館協議会様では、学校図書館げんきプロジェクト³を実施されていますが、このプロジェクトの図書の寄贈先（被災地学校図書館）をご紹介いただき、当協会から昨年7月と9月にリース終了パソコン寄贈のご案内を差し上げ、お申し込みをいただいた学校図書館にリース終了パソコンを寄贈いたしました。

学校図書館への寄贈活動においては、蔵書のデータベース化に必要なバーコードリーダーを付属品として添えるとともに、学校図書館協議会様から提供を受けた図書館管理ソフトウェアを同梱して、リース終了パソコンを寄贈いたしました。

リース終了パソコンを寄贈した学校図書館からは、体育館が被災したこと、あるいは、原子力発電所事故による放射線の影響が心配されることから、外での活動ができないなか、児童・生徒に読書を奨励しており、リース終了パソコンを図書の返却・貸出などに有効に活用させていただくという声や、全国から図書の寄贈があるものの、学校図書館用のパソコンが不足しており、リース終了パソコンを図書管理に有効に活用させていただくという

声寄せられています。

4. バッテリー溶融事故への対応

昨年10月、当協会が寄贈したリース終了パソコン（ノート型）のバッテリーが溶融する事故が発生しました。幸いにして人的な被害は生じませんでした。ご関係の皆様方にご心配をおかけしたことをあらためてお詫び申し上げます。

当協会では、この事故を契機として、寄贈したリース終了パソコンを安心してご活用いただくため、他にも問題となり得る点の洗い出しを行い、メーカーの協力を得ながら、寄贈したすべてのノートパソコンを調査したところ、メーカーのバッテリーリコール対象機種が含まれていることが判明いたしました。

このため、当協会では、昨年11月に該当するパソコンを寄贈した教育機関に、リコール情報をお知らせし、交換が必要なバッテリーかどうかの確認をお願いするとともに、寄贈したリース終了パソコンの返品・交換に応じる旨のご案内を差し上げました。

バッテリー溶融事故については、公的な専門機関が調査した結果、溶融したバッテリーがメーカーの非純正品であったことが判明しました⁴。本年2月に、当協会では、寄贈したリース終了パソコンにメーカー非純正品のバッテリーが装着されていないか、リース終了パソコンを寄贈したすべての教育機関に確認をお願いいたしました。

当協会におきましては、このたびの事故を踏まえまして、リース終了パソコンを寄贈する際には、今まで以上に点検・確認を行うことといたします。

3 公益社団法人全国学校図書館協議会様をはじめとする関係団体が主催して、東日本大震災で被害を受けた学校に図書を寄贈するなどの被災地支援活動です。

4 溶融した原因については不明とされています。

具体的には、メーカーの告知を参照しながらバッテリーなどのリコール情報が出ていないリース終了パソコンを寄贈するとともに、パソコンに装着されているバッテリーがメーカーの純正品であるか否かを確認するなどして、教育機関が安心してリース終了パソコンをご活用いただけるように努めてまいります。

さいごに

本誌の8ページから13ページに、リース終了パソコンを寄贈した教育機関から寄せられました被災状況やリース終了パソコンの活用方法などをくわしく掲載しています。被災地の教育現場の実情とともに、先生方の児童・生徒への思いが伝わってきますので、ぜひご覧いただきたいと思います。

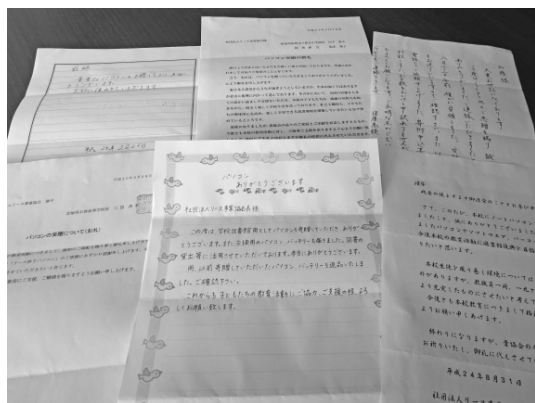
当協会では、リース終了パソコンが被災地教育機関で有効に活用されていることから、平成25年度の社会貢献活動として、引き続き、公的教育機関への寄贈活動および学校図書館への寄贈活動を行います。すでに被災地の特別支援学校には、当協会からリース終了パソコン寄贈のご案内を差し上げており、できる

だけ多くのリース終了パソコンを被災地教育機関にご活用頂きたいと考えております（7ページに寄贈のご案内文書を掲載しています。）。

さいごになりましたが、平成23年度活動(子どもの学び支援ポータルサイトを通じた被災地の子どもの学びの環境確保)により、文部科学省より表彰状を頂きましたことをご報告申し上げます。

また、被災地教育機関で連絡・調整をしてくださっている関係者の方々、ソフトウエアのご提供を頂いています日本マイクロソフト株式会社様、公益社団法人学校図書館協議会様、パソコンの整備・配送業務をしてくださっているヤマトシステム開発株式会社様及び関係会社の方々、バッテリーリコールの対応をいただいたパソコンメーカーの方々、リース終了パソコンをご提供くださっている会員会社の皆様など、たくさんの方々のご支援のおかげで今回の活動が支えられていますことに感謝するとともに、厚く御礼申し上げます。

今後とも、本事業にご協力頂けますようお願い申し上げます。

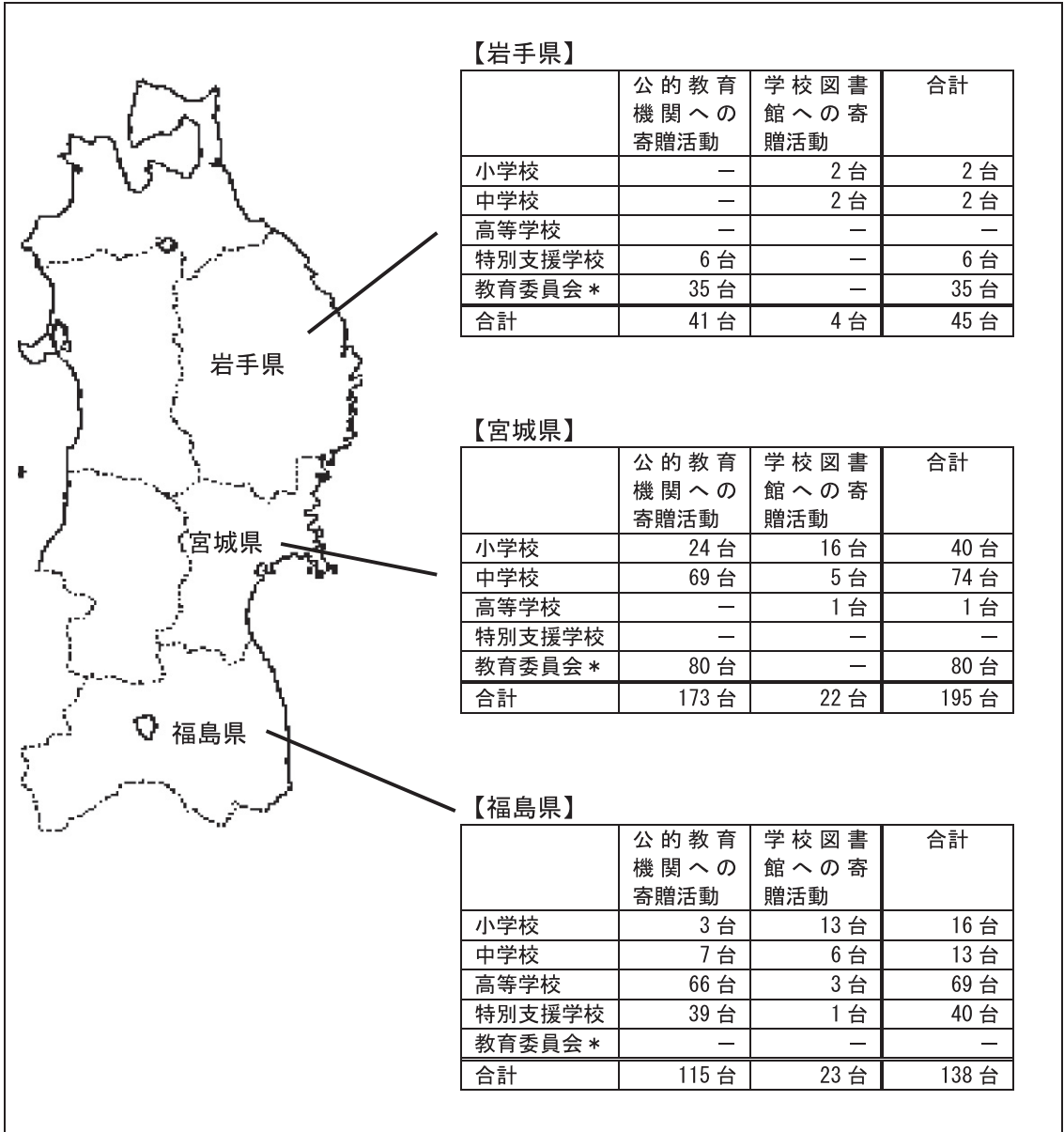


寄贈先から頂いたお礼状



高校（福島県）の図書委員の皆様

平成24年度の社会貢献活動（寄贈実績）



【岩手県】

	公的教育機関への寄贈活動	学校図書館への寄贈活動	合計
小学校	—	2台	2台
中学校	—	2台	2台
高等学校	—	—	—
特別支援学校	6台	—	6台
教育委員会*	35台	—	35台
合計	41台	4台	45台

【宮城県】

	公的教育機関への寄贈活動	学校図書館への寄贈活動	合計
小学校	24台	16台	40台
中学校	69台	5台	74台
高等学校	—	1台	1台
特別支援学校	—	—	—
教育委員会*	80台	—	80台
合計	173台	22台	195台

【福島県】

	公的教育機関への寄贈活動	学校図書館への寄贈活動	合計
小学校	3台	13台	16台
中学校	7台	6台	13台
高等学校	66台	3台	69台
特別支援学校	39台	1台	40台
教育委員会*	—	—	—
合計	115台	23台	138台

* 教育委員会を通じて小中学校、適応指導教室にリース終了パソコンを寄贈しました。

リース終了パソコンの無償提供について

平成25年4月18日
公益社団法人リース事業協会

- 当協会では、社会貢献活動として、東日本大震災の被災3県（岩手県、宮城県、福島県）の公的教育機関にリース終了パソコンを無償でご提供します。
- この活動は、平成23年度から継続して実施しており、2年間で902台のリース終了パソコンをご提供しています。
- リース終了パソコンを希望する公的教育機関様におかれましては、下記要領をご参照いただき、当協会までご連絡くださいますようお願い申し上げます。申込書等の関係書類を送付させていただきます。

記

1. 対象となる公的教育機関

- 公立の教育機関（小中学校、高等学校、特別支援学校、図書館、公民館、美術館、博物館等）にご提供します。

2. ご提供するパソコン

- ノート型またはデスクトップ型パソコンとなります。（WindowsXP、Office2007搭載。これらのソフトウェアは、日本マイクロソフト株式会社様のシチズンシップライセンスを利用しています。）
- 被災地の公的教育機関までの運送費用は当協会が負担します。
- リース終了物件となりますが、当協会で整備をして、ソフトウェアを含めて無償でご提供します。

3. ご提供台数

- 70台程度を予定しています。（※予定台数に到達次第、終了させていただきます。）
- できるだけ多くの教育機関へご提供をしたいと考えておりますので、1教育機関当たりの提供台数は調整させていただくこともあります。

4. その他

- Windows XPにつきましては、マイクロソフト社のサポート期限が平成26年4月までとなっております。それ以降は、同社からセキュリティ更新プログラムが提供されなくなります。ウィルス等セキュリティ上のリスクが高い状態でお使いいただくこととなりますので、インターネット接続をされずにご使用いただくことをお奨めいたします。

以上

〈お問い合わせ先〉

公益社団法人リース事業協会事務局社会貢献担当 電話番号03-3595-1501

(参考資料)

【岩手県・沿岸部※】

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
小学校	専用のものはなく、担当者が個人用のパソコンでデータを管理している	受入、廃棄など蔵書の管理をする。利用者（教職員・児童）が本を検索する【東日本大震災により、学校の図書室は消失した。現在町内の4校が同じ仮設校舎の中で合同で教育活動を行っている。平成25年度に統合する予定である。仮設校舎内に図書室がないため、各教室・廊下に本が散在している。そのため、探したい本を見つけにくい状況にある。簡易式の棚（段ボール製）を使っており、耐荷重が心配である】
小学校	図書貸出用パソコン（バーコードリーダー付）2台	図書館だより、掲示物作成等の事務用パソコンとして使用する【震災当日から体育館が避難所となり、最大時200名余の避難者がいた。平成23年5月、校庭に緊急仮設住宅が建設されたのに伴い、体育館の避難所は解消された。校舎と図書館等には大きな被害はなかった。現在180名の児童のうち、住宅の被災や保護者の失職などの被害を受けた児童は70名にのぼる】
中学校	Windows XP ノート型8台、DT型14台。図書室兼パソコン室になっている。	総合的な学習の時間、進路学習、各教科【仮設校舎で学校生活を送っています】
中学校	なし	図書の整理の為【図書館が、仮校舎のためありません。図書は廊下の本棚等に置いています。支援等で送られてくる図書も多く、管理に苦労しています】

【宮城県・沿岸部※】

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
小学校	使用していない	貸出・返却業務・蔵書管理・検索・読書記録管理【震災時は、津波で校舎も床上約50cmの浸水をしました。本校にも、地域の方々が200名ほど避難されてきましたが、水が引かないため、3日目にボートで全員他の避難所へ移りました。当時の在校生・保護者は無事でしたが、学区のほとんどが浸水した地域です。今後、体育館の改修工事やボイラーの修繕等が必要ですが、子どもたちは明るい笑顔で日々を過ごしています。本に親しみ、未来への希望を持って、成長してほしいと思っています】
小学校	今年度から蔵書のデータ化の作業を始めたので、その作業のために1台パソコンが配置されているが、インターネットにつなぐことができないため、児童の調べ学習に使われていない。また、データ化作業についても、1台しかないため作業が進まず苦慮している	蔵書のデータ化作業のため【震災による学校の直接的な被災はほとんどなかったが、その後転入生が多く児童数は700名を超えた。貸出の業務や図書の整理が複雑になり、蔵書のデータ化によるスムーズな貸出・整理が望まれている】
小学校	蔵書管理用に1台使用している	図書館教育を進めるための事務用として使用する【校舎や体育館等床上浸水があり、児童の3人に1人は仮設住宅などに住んでいる。心のケアを進めるためにも、図書館教育にさらに力を注ぐため活用していきたい】
小学校	学校図書館とコンピューター室を共友しており、コンピューターは児童用として5台、教師用として1台備え付けている。コンピューターは主に学習用として使用している	主に児童の学習用として現在備え付けているパソコンと共に使用する
小学校	図書の登録や貸出業務に利用しているが、バーコードリーダーが断線しそうな状況です	主に貸出業務や図書の登録。また、環境が整えばインターネットに接続し、検索できるようにしたいです【学校に大きな被害はなかったものの、いろいろな団体から図書等を寄贈していただきました。また、図書館司書が専任で図書館にいるわけではないので、パソコンがあると登録や貸出などの業務が円滑にいきます。パソコンを導入してからは以前と比べると大幅に貸出が増えました】

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
小学校	デスクトップパソコン・バーコードリーダー・マウス・プリンター（各管理用）1台ずつ	図書室の管理・運営・貸出・返却・蔵書検索・督促・予約・本の登録・除籍・利用者登録・統計等
小学校	カウンター用コンピュータ1台整備	蔵書管理・貸出・返却・統計等
小学校	デスクトップパソコン1台	図書館管理ソフトがあるわけではないので、主に図書室で使う文書の作成のため使用しています【リース終了パソコンの寄贈の申し出誠にありがとうございました】
小学校	今年度よりパソコンによる管理システムを導入。現在バーコード貼付作業及び貸出用児童カード作成中。試験的に貸出作業に入る段階。なお、パソコンが1台しかないため、蔵書管理、貸出、返却等すべてを1台でやらなくてはならない。児童が多数来館した場合、時間がかかるのではないかと心配している	複数台の活用によって役割を明確にできる。貸出用、返却用を分けることで高学年児童の委員会活動としても取り入れることが可能となる。又、万一1台が故障した場合にも臨機応変な対応が可能となる【この度は大変ありがたい支援のお話を頂戴し、誠にありがとうございます。本校は東日本大震災により体育館（講堂）とプールが被災し取り壊すことになっています。体を動かすことがままならない分、心の栄養として読書することを奨励しています。また朝読書の時間も設定し、子どもたちはとても積極的に本に親しもうとしています。また、被災した他の小学校が併設し、両校の子どもたちが合同で日々生活・授業を送っています。1年半になりますので、学校の別なく仲良く学校生活を進めています】
小学校	デスクトップ WinXPのパソコン2台を使用中。	児童への貸出・返却の管理。本の管理【ディスプレイ落下によりこわれました。もし2台寄贈いただけると助かります】
小学校	図書室のパソコンは15年以上前のものを使っているため、不具合が起こりつつある	児童の学習使用・校務処理・図書貸出管理
中学校		現在図書館にあるPCは、貸出、返却業務用です。寄贈していただけるPCは図書館だよりの作成や図書購入の発注業務等に使用したいと思います【この度は、パソコン寄贈のご案内をいただきありがとうございます。昨年より各方面の皆様よりご支援いただき、震災の動揺がおさまらない中、生徒たちは無事に学校生活を送ってきました。本校の生徒は本が大好きで、通常の授業がままならない昨年度でも12,500冊の貸出がありました。寄贈いただくPCは有効に使わせていただきたいと思います】
中学校	なし	カード式貸出方式でしたが、これを機に電算化したいと思います【図書館は2階にあり、蔵書はほぼ無事でしたが、1階の教室や生徒に貸出していた図書は流出しました。現在は他の小学校を間借りし、図書館は廊下にあります。8月7日・8日に仮設校舎へ引越しますので、1部屋が図書館となります。どうもありがとうございました。今後ともよろしく願致します】
高校	デスクトップ2台（カウンター用1台・司書室蔵書管理用1台）、ノートパソコン1台（検索用）	検索用のパソコンとして閲覧室に設置したい。また、蔵書点検用のパソコンとしても活用したい【学校図書館は大きな被害がなかったが、自宅が被災した生徒が多く、持っていた本の多くを失った。学校図書館として、そのような生徒たちの読書活動を支えたい。この度は「リース終了パソコン」のご恵贈にあずかり感謝申し上げます。早速に本校図書館で活用させていただきたいと存じます】

【宮城県・その他】

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
小学校	1台設置（図書室内）	児童の調べ学習用・蔵書の整理用【書架の破損】
小学校	図書室にパソコンは設置されていない	週1回、学区図書館司書が非常勤職員として勤務し、図書の管理にあっている。約6,600冊の蔵書の管理や毎年新規に購入する図書と、廃棄にする図書の整理などの業務を効率的に行う上で、パソコンによるデータベース化が欠かせないため【体育館が震災で一時期使用できなくなったが、校舎は被害はなかった。図書室の図書も棚から落ちる被害はあったが、破損はなく、使用できる状況である】
小学校	図書管理用パソコンは現在ありません	児童用図書の管理のために使用したいと思います【大変ありがとうございました】

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
小学校	3台あるが1台は使用不可	使用できる2台は、児童向（調べ学習に使用）。使用不可となった1台は図書室管理（蔵書・借用などデータベース化）に必要なもので大変困っていた【この度は本校にパソコン寄贈の案内を頂きまして本当にありがとうございます。本校では平成17年度より図書管理のためにパソコンを導入しておりました。ところが最近になり、パソコンの調子が悪くなりまして大変困っておりました。今回の寄贈はとてども助かります。どうぞよろしく願いいたします】
小学校	なし	今後、バーコード管理に移行する時に備えたい。今年度は児童の図書利用の統計を取ったり、児童の読書傾向を調べて、新しく図書を購入する際の手立てとしたい【本校では、教室・体育館・プール・玄関前通路が地震による揺れで被災したが、現在は全て復旧し通常通りの学校生活を送ることができている。図書館用パソコンを寄贈いただけるということで大変ありがたく感謝申し上げます。どうぞよろしく願いいたします】
小学校	図書室使用のパソコンは無し	現在、図書室の本の管理は図書原簿に手書きで行っている。パソコンでの図書の管理、図書の検索などに使用したい
中学校	ありません	インターネットで本の情報を集める【校舎が地震のため傾いたり沈下したりしたので解体し、現在は仮設校舎で生活しています。以前は図書室に1台パソコンがあり、図書補助の先生が使用していました。丁寧に梱包していただき、大変立派なパソコンを送って頂き感謝しております。今後ともよろしく願いいたします。本校は内陸の学校にもかかわらず校舎が壊れ、今現在仮設校舎で生活しております。新校舎建設のめどもたつてはいませんが、600人が思いやりの心をもって日々過ごしています。応援ありがとうございます】
中学校	カウンター業務用1台（教師の私物）生徒用6台	現在カウンター業務用パソコンは私物を使用しているので、それと交換したい。また蔵書チェックなどの作業には、ノートパソコンが必要なため【玄関階段の破損、中庭地面の陥没、体育館壁面のひび割れ等】
中学校	ありません	データを作り、蔵書管理をしたい。現在町のボランティアが4名協力してくれています。データベースを作って頂けるそうです【蔵書の被害はかなりありましたが、現在かなり復旧しています。室内の被害は運よくありませんでした。震災の1年前、大工ボランティアが入ってくれて書架の耐震をしてくれたおかげです。せめて蔵書管理のパソコンを1台入れて近代化を図りたいという希望を持っています。貴重なパソコンをお送りくださりありがとうございます。大切にに使わせていただきます】

【福島県・沿岸部※】

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
小学校	パソコン1台でバーコード化された図書の貸出を行っています	図書室が2か所に分かれているため、それぞれの図書室に備え付けることができると、貸出作業がより円滑に行えるようになります【東日本大震災では、校舎1階部分が津波の被害にあいましたが、皆様のご支援もあり、現在は以前と同じように学校生活を送っています。本当にありがとうございます。これからも子どもたちの教育活動にご協力、ご支援の程、よろしく願い致します】
小学校	昨年度、本校の図書館でもバーコードでの管理・貸し出しが始まりました。それまでは、貸し出した本を学級毎のファイルに書名や名前などを記入し、更に個人のカードに記入する。という手間を取っていたため、かなり時間の短縮になりました。しかし1日平均50人が来館し、その子達を大休憩の15分でさばく事は、パソコン1台で難しく苦労しています。	頂けたなら、パソコンを図書館に設置します。昨日、学期末で行われた1学期の反省の中で、「図書館のバーコードでの貸し出しが課題」という事があげられました。時間短縮できたなら、もっと子供たちの利用意欲が高まるだろうと提案されましたが、良い方法が見つからず、対策は検討できませんでした。パソコンは貸し出し業務に利用し、時間の短縮を図りたいと思います。そして貸し出しの手続きのために使っていた時間を読書の時間にに使わせてあげたいと思っています。被災児童の転入も多く、子供たちがよく図書館を利用している点から、子供たちの心のケアに本が成り得ている事を感じます。又、震災後外で遊ぶ事を控えていた時期にゲームをして過ごしていた為、遊び方や余暇の過ごし方に読書が位置付けられていない現状もあり、読書習慣の定着化を目指していきたいと思っています【昨年度、幾つかの機関から寄贈があり、蔵書の充実が図られた事を大変有難く思っています。更に今年度は、リース事業協会様よりこのような支援活動を計画して頂けたこと、うれしく思っております。これから、ここで生きていく子供たちには、主体的に物事を考え、実行し、思いやりを持って助け合って生活することを教えていなくてはならないと思っています。主体的に学ぶことやそれを発信したり実行したり

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
		<p>すること、相手を思いやる優しさや想像力、それらは図書の力によるものが大きく、これからますます読書を推進していけたらと思っています。頂けたなら十分に活用できるよう努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します【】</p>
小学校	パソコンはありません	<p>蔵書のバーコード管理の試用【建物の一部破損、建物周辺の地盤沈下と配管等の破損、原発事故による避難児童の受け入れ】</p>
小学校	専用のパソコンはあります	<p>学校図書の台帳管理【学区内に津波被害がありました。学校運営はほぼ通常です。仮設住宅から通っている児童が10名程度います】</p>
小学校	<p>現在、学校図書館用としてのパソコンは配当されていません。職員用のパソコンで学校図書の業務を行っている状況です</p>	<p>図書室にて図書の台帳作成を行うために使用したいと希望しています。図書の受付・台帳記入などのパソコンとして活用したいと考えています【今までは手書きにて図書台帳を記入していました。しかし、東日本大震災後、多数の図書が本校にも寄贈され、台帳の整理が間に合わなくなっています。そのため、図書ボランティアの方をお願いして図書の整理をしているところです。先日はパソコンを送っていただきましてありがとうございます。心より御礼申し上げます】</p>
小学校	<p>学校図書館用のパソコンはなく、小規模校の為専任の司書もいないが児童図書のデータベースを少しずつやりはじめている</p>	<p>学校図書館の児童図書をパソコンによってデータベース化するため。学校施設児童への大きな被害はなかったが原発事故による放射線影響によりプールの使用ができず、また、野外活動の場所も制限されている。児童4名が原発事故のため本校に転校している</p>
小学校	<p>図書支援員にパソコンを配当し、業務遂行の為に使用している。図書室に常設しておらず、作業内容に合わせて持ち運んで使用している状況</p>	<p>図書原簿の作成（主に新刊図書）の為に使用しているが、今後、学校図書のデータベース化が望まれているため、そのために使用していきたい【寄贈のお申し出、ありがとうございます。図書室自体は使用できる状況ですが、校舎は被災により工事が行われている状態です。今後有意義な読書活動が行えるよう、有効に活用していきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します】</p>
小学校	<p>図書室に備え付けのパソコンはない。図書整理員が月8日勤務していて、その方専用のパソコンがあるが、8日間以外はその方が他校に持って行っている</p>	<p>図書室に置いて、蔵書データの検索に使用する。ボランティアの方々が、掲示物の作成等に使用する。新しく買った図書の登録に使用する【本校は平成23年2月末に新校舎が出来上がり、旧校舎からの引っ越し後10日で東日本大震災にあいました。幸い新校舎に児童がいたため、けが人等はありませんでした。（旧校舎はガラスが飛散し、靴箱の転倒、コンクリート片の崩落等があり、ここに子供がいたらと思うとぞっとしました）海岸から数Km離れた地区なので津波にもあいませんでした。しかし、海岸地区の方々が避難してきたため、学校は4/17まで臨時休校でした。その後学校は平常に戻りつつありますが、旧校舎の解体が遅れ、校庭造成がやっと9月末に終わるところです。その間、新校舎の図書室の機能の充実を図り、休み時間等に多くの子が活用してきました】</p>
小学校	保有していません	<p>蔵書管理に活用したいです【被災状況として、学校は浸水していないが、地区（学校）が津波により多数の児童が仮設住宅から通学している。支援の一環として、本が多数寄贈されている】</p>
小学校	<p>学校図書館用のパソコンはない。パソコンがないので、蔵書管理、図書の貸出をパソコンでこれから管理したい。今までの蔵書を平成23年度に教師用のパソコンで手分けし入力して図書台帳を作った。パソコンで入力した図書台帳を充実されるため、学校図書館用のパソコンはないので、今年度の台帳入力には職員室で教師用のパソコンを使用している</p>	<p>学校図書館用のパソコンがあれば、台帳入力や図書の貸出を、図書館においてスムーズにできます。是非とも寄贈を宜しくお願いします【3月11日の東日本大震災によって市内では津波で480人ほどが亡くなられた。本校は内陸にあるため、津波の被害はなかったが、地盤沈下により、地下灯油タンク、トイレ、浄化槽に被害があった。図書館もテレビが棚から落ち壊れ、備え付けの本棚から多くの本が落ちた】</p>

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
小学校	学校図書館専用のパソコン・蔵書管理ソフトは所有していない。そのため、蔵書管理及び貸出事務はすべて紙ベースでの手作業となっている	蔵書データベースを作成し、一括管理するとともに、児童への貸出や返却を管理するために、図書館管理ソフトを使用したい【本校は地震の被害もほとんど無く、比較的高い場所にあるがため、近隣校は津波の被害を受けたものの、無事であった。4月22日の学校再開日には、市内の5小学校の児童を受け入れ、6校体制で再スタートをきることができた。ワークスペースやランチルームにパーテーションを立てたり、図書室に児童用机を並べたりして、学習スペースを確保した。児童用の図書は、箱に本を入れて各教室に配り、教室毎に管理することとした。震災に際し、各地のNPO法人さんや図書販売会社さん等から児童用図書の寄贈をいただき、蔵書が一度に増えたこともあるので、管理ソフト・専用パソコンを頂戴できると大変助かります】
中学校	1台も配備されておりません	蔵書の管理、貸出及び学校図書館における運営事務の一切【校地内に地割れ、地崩れが生じたため、現在工事中である。また、除染工事も現在進行中である。未だ避難して居所を移している生徒がいる】
中学校	設置していない	蔵書の管理のため【この度は大変ありがとうございます】
中学校	図書室専用ではなく、事務用として1台（図書整理員用、2校共通）	図書台帳の作成（蔵書の管理）、掲示物の作成
中学校	有線でインターネットの検索ができる程度のノートパソコンが近日設置されます（1台）。図書の管理は専ら手書き登録で、台帳のみエクセルで入力している状態です	バーコードリーダーを導入しての図書管理を検討している最中でした。予算が立てられず、見送るかどうかが議論するところでしたが、是非バーコードリーダーを使用し、学校の図書の貸出・蔵書管理を行いたいと思います【学校図書館の他にもPC室のPCが古いので、使用するにも難しいところがあるのが現状です。学校図書館だけでなく、ノート型のPCがあると助かります。震災後、多くの方々から支援を頂き「図書センター」としての機能が整いつつあります。単年度ではありますが、図書整理員の方も配置されました。今後は「情報センター」としての整備も進めていけたらと思っています】
高校	以前は図書館システムを使用し、蔵書管理と利用手続を行っていたが、避難により、本体を持ち出せず、システムの更新もできなかったため、パソコンによる管理を考えていなかった。今年度から仮設校舎ではあっても、単独で蔵書管理できるようになったが、冊数が小規模で、今のところパソコンによる管理の必要性はなく、配置はなかった	寄贈を受けて、パソコンを活用できるようになったら、図書館ではまず、蔵書の管理に図書館ソフトを用いるようにしたい。バーコード用シール等の準備が整うのであれば、先生方と相談のうえで利用手続にもパソコンを活用したい。図書活動でパソコンを用いると管理も簡便になるので、生徒図書委員会でも自主的に活用させたい【温かいご支援をいただきありがとうございます。この度、本校にノートパソコンを寄贈いただきましたこと、誠にありがとうございました。寄贈いただきましたパソコンやソフトウェア、バーコードリーダー等を今後本校の教育活動に図書館復興を目指して活用してまいりたいと思います】

【福島県・その他】

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
小学校	図書館にはパソコンの配備はなし	図書管理のデータ化には、まだ至っておりませんが、少しずつ進めていきたいと思っております。現在は図書室にパソコンの配備がありませんので、活用していきたいと考えています
小学校	図書館利用として1台保有している	現有のパソコンとリンクして使用できれば、図書貸し出し用として。できないようであれば、図書委員会、図書ボランティア活動の事務として使用したい【福島第一原発事故の影響で児童の外の活動時間や場所が制限されている状況にあります。その中で児童の豊かな学びを支えているのが図書館活動です】

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
中学校	現在、本校は福島第一原子力発電所の事故の影響により、計画的避難区域に指定されている。避難先では図書室はなく、避難する際に持ってきたり、新たに購入した図書資料は各教室に配置している。また、元々学校図書館にパソコンはない。しかし、平成22年度から図書台帳をExcelを活用し、デジタル化している	平成22年度からデジタル化した図書台帳の管理。また、来年度以降、学校の場所の移転も予定されており、円滑な図書館資料の管理に役立てたいと考えている。また、学習委員会（いわゆる図書委員会）の活動でも活用できればとも考えている【図書室自体の被害はそれほどでもなかったが、地区に戻る見通しは現在のところ立っていない。全国各地から図書の寄贈があり、蔵書数が激増した。しかし、図書の配置場所の確保や迅速な受け入れ体制の構築が今後の課題である】
中学校	1台	図書委員会の生徒が生徒の本の貸出用に使用しています【ありがとうございます。大事に使用させていただきます。また、このようなお心遣いを貴社よりいただきましたこと、生徒・保護者にもお伝えいたします】
高校		【ありがとうございました。感謝申し上げます】
高校	なし	本校図書館の蔵書管理、窓口業務（貸出・返却等）にて使用【図書館は昨年の震災と余震により、暖房設備の配管が破損。本棚の上部（天井）より漏水し、本を1,356冊破棄しました。学校全体では、教室のある校舎が半壊状態となり、全学年の生徒が仮設校舎で学んでいます。この度はノートPC他のご恵贈を賜り、誠にありがとうございました】
特別支援学校	デスクトップ型の古い物が1台設置されています	調べ学習（インターネットでの検索）・図書館蔵書のデータ検索など
特別支援学校	現在使用しているPCは、動作不良や動作遅延が多く報告されているが、修理にかかる予算も少ない。生徒用PCについては、特別教室への配当は情報室のみ	職員の校務運営・特別教室・生徒指導での授業用に使用予定。復興に関わることに予算配分が大きくなり、校務運営や備品充実に関する項目への予算配当は厳しい現状にある。調べ学習や実習、生徒会活動等で活用するため、寄宿舎で動作不良を起こしている生徒用PCの代替機として配当を考えている【先日はパソコンの寄贈、本当にありがとうございました。頂いたパソコンを授業や校務に活用することができ、情報化をより一層進めることができました】

寄贈PC応募時に各教育機関からいただいた情報および、寄贈後にいただいたお礼等をもとに作成しています

※沿岸部：海岸に接している市町村を指します